

平成 29 年 5 月 31 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 様

議会報告会	2 班
班長 藤井	俊行
近藤	美保
野村	誠
菅野	浩考
植田	和子
中川	弘
青野	直

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 29 年 5 月 13 日（土）
午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
- 2 場所 森の図書館 大会議室
- 3 欠席議員 無し
- 4 来場者数 市民来場者 25 人
議員・職員 6 人
- 5 報告内容

現在のメンバーになって実施した議会報告会において市民との意見交換において参加された市民の皆さんからのご意見・ご要望に対しこれまでの議会内での取り組みと現状についてパワーポイント

トを使用しながらの説明を行った。

- ア 過去3回の報告会概要について
- イ こどもの貧困について
- ウ 療育支援・インクルーシブ教育について
- エ 地域子育て支援について
- オ 保育園・幼稚園について
- カ 放課後の子供の居場所づくりについて
- キ 都市の成長管理について

過去の報告という事も有り、参加市民から報告内容についての質問などは特になく、ご質問等が有れば以後の意見交換の場でお願ひすることとした。

6 意見交換内容

【意見1】発達障害のグレーゾーンのこどもがおり現在通級支援教室に通わせているが、その事を公にしたいく無いことも有り多くの保護者の意見が届かないのではないか。特殊学級では補助員が配置されているが東深井中の通級教室では20名以上のこどもを一人の教諭で担当しているが、これでは目の行き届いた支援が出来ない一方プライバシーのこともあり何とか良い方策は無いのでしょうか。

【回答1】教職員の配置は県、補助員の配置は流山市の単独事業と言う問題がある。ご指摘のとおり難しい課題が有る事も事実だが打開に向けた働きかけを進めてゆきたい。

【意見2】教員の学校における部活の指導負担は極めて大きいのではないか。流山市でも調査し、必要なら対応を考えてほしい。

【回答2】学事処理システムの導入等で部活に限らず、教諭の負担軽減策に取り組んで居るが、このシステムの習得自体が負担となっているという話もあります。また地域の方々の支援を受けることも模索しているが現実には上手く行っていない。今後とも引き続き課題として取り組む必要がある。

【質問3】東深井には児童館が無い。設置は出来ないのか。森のクラブの利用なども考えられないか。

【回答 3】一般質問で取り上げてきており、今後も継続して取り組みたい。

【質問 4】TX 沿線開発の進展に伴い、若い世代の人口が増えれば児童数が増えることは自明なのに、保育園や学校整備が後手に回り追い付いていない。小山小学校は校舎の増設が続いている。一体どうなっているのか。おおたかの森小中併設校の様な立派な学校が必要だったのか。市長の独裁で作ったのではないか。おおたかの森駅前市有地に計画されているマンションに保育園は併設されないのか。

【回答 4 - 1】当初の小山小の計画は素晴らしいと感じていたが、当時の児童推計に狂いがあり、併設校建設時に設計を見直すべきとの立場で活動したが時間切れで最後賛成せざるを得なかった。忸怩たる思いだが 2 度ある事は 3 度あるでは済まされないのでの轍を踏まない様に取り組んでゆく。駅前市有地についても慎重審議を求めたが昨年 1 2 月に承認されたが、拙速で有ったと考えている。人口誘致は市長の政策で有り、それに伴う施設の整備は前広に実施して当然だがそれが出来ていない事だ。

【回答 4 - 2】これまでも反対してきたが市長はこれまで反省も十分な説明もなく数を頼りに強引に推し進めてきた。キャッチコピーに偽り在りだ。市長の政策判断ミスだと考えている。併設校も豪華過ぎるし、市有地活用計画も唐突である。

【回答 4 - 3】人口誘致を進めるのだから学校は必要との判断で市長を支持してきた。小学校を PFI で運営できるのか、低層階で大丈夫なのか多少の疑念はあったもののこれまで市長の方針を認めてきた。これまでの執行部の大丈夫という説明を信じてきたが今後は皆さんの意見も聞いてゆきたい。マンションへの保育園併設はあるが規模の拡大を求めてゆきたい。

【回答 4 - 4】完全な児童数推計をすることは困難なので、こまめな検証が重要だが、これが不足していたと感じる。他市では過大な学校を作り補助金を返却する事態も起きている。これまで市は児童推計を先 3 年しかやって居なかったが議員自身が手を動かしてさらに先まで推計し提案すべきだった。市有地についてはそれなりの議論をしてきたと考えており私は一定の評価をしている。今後は子育て環境の質を担保していくため、市民への十分な説明責任を果たしてほしい。

【質問5】自分のこどもがいじめに遭っている。現在は域外の学校に頑張って通っている。周囲にいる大人も同級生もいじめを見て見ぬふりだ。他の学校でも発生している。私はこのようなことが起きない様にするにはまちづくりすることも大事だけど人づくりが重要だと感がえているが意見を伺いたい。対策に議員が参加していないのは問題なのではないか。今の状況はやったもの勝ちと言える、いじめに起因する自殺もあり、みんなが関わり続けることが必要なのでは。

【回答5】専門家による対策委員会と現場の先生たちによる調査委員会が設置され現在双方の保護者を加えて協議中、今後も被害にあっているこどもさんに寄り添って対応してゆきたい。また、加害者のこどもへの指導も徹底することになっている。まちの頑固おやじ的な人が居なくなったこともいじめの原因では考えている。

【質問6】双子や三つ子の子育て問題、母親一人では面倒見切れない事がある。公園などでも同時に目が行き届かないので家庭で過ごすことが多くやむを得ないときはファミサポを利用しているが費用が高額となり困っているが精神的にもギリギリに追い詰められている。ファミサポの補助は考えられないのか。母子保健事業において、保健センターが関与する様に国の方針が出ている。ファミサポや助け合いネット等ボランティアではリソースが足りなくてサポート出来ない。限界である。

【回答6】承りました。

【質問7】障害を持った子供の受け入れ先が現在は市立保育園だが、民間保育園はどうなっているのか。受け入れに際し、行政からの補助はどうなのか。

【回答7】民間でもしょうがい児の受け入れが有るが、しょうがい児の数に見合った補助金が得られないのでその数は広がらない。そこで公立に職員を配置し受け入れる事で対処している。

【質問8】市長が当初の二小一中の計画を併設校の形に費用削減称し変更した。そして今、明らかになった新設校は何処に作るのか？また、他校との格差是正で他校にはエアコンが設置された今になって併設校にもエアコンを設置すると聞いた。何故最初からエアコンを設置しなかったのか。そもそも併設校の設計が問題があり使い勝手が悪い。賛成した議員始め執行部は責任を取っ

ていないのでは。

【回答 8 - 1】併設校の点についてはご指摘の通り。

【回答 8 - 2】併設校はエアコンの要らない様に設計されているから建設費は嵩むが建設するとあたかも設計会社の提案の様に説明されているが、設計会社はエアコンが要らない様に設計してくれと言われたからあのコンセプトを採用したと明言している。ギリギリまで反対してきたが開校期限もあり最終的には予算案に賛成せざると得なかった。当初から二重丸で賛成したもの、ギリギリまで修正を求めたもの、予算案まで反対したものが居たことは理解してほしい。

【質問 9】流山市はホットスポットであるにも拘らずどうして甲状腺エコー検査に対して助成を出さないのか。こどもの立場に立って判断していますか。納得できない。

【回答 9 - 1】当初は人事院勧告に伴う議員報酬改定で財源をねん出できるので陳情には賛成した。その理由は早期に助成を開始する事で客観的なデータを収集しその後の対策に活用できると判断した。が、助成が行われないうまま時間が経過し客観的なデータを収集する手段と言えなくなったことからその後は反対している。

【回答 9 - 2】自分は反対した。姉妹都市で有る福島県相馬市と比較しても流山市の放射線量は低い上、医療相談という他市には無い制度も設けている。助成額は一人当たり三千元なので本当に心配なら全額自己負担しても受けるのではないか。

【回答 9 - 3】自分は反対した。福島県は県レベルで万全の体制で行って居るが近隣の市町村の例ではその体制が不十分であり効果はないと判断している。

【質問 10】出産を控え話を聞きに来たが子育て世代の参加が少ない・呼ぶ努力をしているのか。親子が行っている場所に行ったらどうか。取りに行く努力は必要なのでは。

【回答 10】当班については議会報告会に呼ぶ努力はしている。

【質問 11】民間の学童を運営しているが、こどもを引率して児童センターを利用しようとしたが断られた。ショックを受けた。

【回答 11 - 1】問題として認識したい。

【回答 11 - 2】児童館の数の問題かもしれない。

【回答 11 - 3】児童センターどころか公園の利用でも類似の問題

が生じている。とにかく皆さんが関心をもってどうすれば良いのか考えてゆくことも必要だ。制度を作れば解決するという問題ではないような気がする。

【回答 1 1 - 4】児童館の活用をこどもの居場所づくりで検討したが目的外利用で反対された。今は、福社会館を活用している例もある。

【質問 1 2】母子健康手帳を受け取れるのは平日の初石の保健センターのみで共働きの方は中々受け取りに行けない。おおたかの森でも受け取る様に出来ないのか。また、保健センターへの保健師の増員も検討すべきではないか。

【回答 1 2】おおたかの森出張所でも受け取れます。保健センターの件は問題として認識したい。

【質問 1 3】市の主要な予算項目で最重要なものは何で、その予算が今後どのようになると考えているのか。学校施設についてもつくばエクスプレス沿線に偏重していると感じている。教育は平等であるべきと考えるが、児童一人当たりの教育関係の費用に格差は無いのか。

【回答 1 3】大変重い問題と受け止める。新設校と既存校では総額ベースで児童一人当たりの費用に格差はあると思うが、先生の質については差はないと考えている。予算額については行政が予算書として公開している。

7 参加者から議会への要望

【謝辞】前回要望したつばさ学園の利用料の銀行振り込みが実現したことについて、保護者の皆さんは大変喜んでいる。

【意見】議会の質問時間を減らすべきではないし、議員数だって増やすべきだ。

【意見】塾なんかにお金を使わず各家庭がもっと責任をもって自分のこどものしつけ等を中心に教育すべき。保育関連に出す予算を出すのではなく、市が安価な市営住宅を提供した方が良いのではないか。

【意見】福祉をやるには財源が必要だと思う。そのために中小企業の事業承継に力を入れることで将来的に税収を確保すべきではないか。現状流山市では何もやっていない。

8 所感

25名の市民参加で会場内での意見交換をするには丁度良い人数でした。大きなスクリーンが設置されている会場にもかかわらず、プロジェクター本体が無く、事前に確認する必要があった。(今回は、朝、中川議員から連絡をいただいたので対応できた。) アンケートにも記載されているが、飲み物くらいは飲める会場の選定が望ましい。教育福祉委員会として活動した2年間の最後の議会報告会のため、伺った意見を次に繋げにくい感じがした。市民の意見にもあったが、議会報告会に呼ぶという姿勢だけでなく、こちらから出向く体制も今後の課題と感じました。全体的に良い意見交換でした。(藤井)

今回は2年間の教育福祉委員会の最後となる報告会であったため、これまで頂いた要望・意見に関する議会活動を「まとめ」として報告することになった。「見えにくい・分かりにくい」とご批判を頂く議会活動の「見える化」に多少は貢献できたのではないかと思う。実際、報告会で頂いたご意見・ご要望内容に対応する各議員の方々の議会活動における行動は素晴らしいものがあり、市の政策に関する大きな方向修正を迫るまでに至った場面も多くあった。今後も「見える化」については更なる工夫を行い、報告を行うことで、より質の高い民意の吸い上げ(課題や問題などは前提として共有し、今後の解決策を一緒に考えるなど)に貢献していきたい。(近藤)

教育福祉常任委員会の班としての議会報告会開催は今回が最後になりましたが、毎回多くの市民の方に参加頂き、今回も有意義な意見交換ができたと思います。1人でも多くの方に御意見、質問等お伺いするため、あらかじめ質問時間等の注意事項のお願いはさせて頂きましたが、時間配分や司会進行の行き届かない点もありましたので、その点は反省し、自身のスキルアップを図るとともに、質問する側も、答弁する側もより有意義な意見交換がなされるよう、より多くの方に発言してもらえよう、タイムマネジメント等を改善していく必要があると感じました。(野村)

同じメンバーで開催する議会報告会は今回で最後でしたが、議員各々で抱えている所感や政策、市政への問題点が明確になっているのが分かった。

議会報告会の終了後に、限られている時間内で片付けや会場点検をしなくてはならない状況にある中、傍聴に来ていた議員がいつまでも会場に留まり参加者を囲んで話し込んでいた。会場外でやって頂くなれば大いに結構だが毎回議会報告会を実施する度に注意しても進歩なし。

議会報告会とは何ぞやという初歩的観点から今一度議会報告会はどういうものなのか。議員各々で理解する必要がある。アンケートにも記載されているが、議会報告会について、ただやっているという観点やイベント感覚、支持者集めのツールに捉えている議員もいる模様。時間をかけて議員報告会を理解し市議会として観点を見直し議員として私もそうだが、各々がスキルを高める必要があると思います。

(菅野)

このメンバーでの議会報告会は最後となりました。市民の皆さんから様々な意見を頂きましたが、とくに衝撃を受けた事は、市内公共施設で集団いじめを目撃しているにも関わらず、見て見ぬふりをして助けようとしめない大人達がいるという話です。いじめをしてはいけないという基本を家庭でも学校でも教えますが、いじめの現場を見たらどうするのか、やめなよと毅然とした態度で、その場にいる誰もが言えるような環境を学校でも地域でも作る必要があると思いました。勇気は入りますが、大人も子どものお手本になるような行動をとらないといけないと改めて発信する必要があると気付かされました。

(植田)

今回は市民からの活発な発言が多数あったことは評価できると思う。しかしながら、参加する一部市民、他班の傍聴議員の報告会でのマナーに残念な点も有った。議会報告会も14回を数え、今後の報告会の在り方について見直すべき時期に来ていると感じる。

(中川)

発達障害のグレーゾーンのこどもの対応・サポート教員不足・部活動の負担増・北部地域に児童館が無い・おおたかの森周辺での教

室不足・児童センターの有効活用などなどについて参加者のの多くの方から貴重な指摘をいただきました。

市民の声に耳を傾け、着実に前進できるようにさらに努力をしなければいけないと強く感じました。 (青野)

